

結婚成功
婚活ガイド



エン婚活

エージェント

幸せが続く結婚を、
すべての人に。

私たちは、
結婚はゴールではなくスタートであると考えています。

だから、
「結婚成功」＝「結婚成立＋結婚後の幸せ」
と定義し、「結婚成功」に繋がるサービスを展開しています。

時には、お客様にとって耳の痛いお話も、
「結婚成立＋結婚後の幸せ」を実現する上で必要だと思ふこ
とはお伝えする。

これが私たちが大切にしている、結婚をゴールにしない婚活支援
です。

幸せが続く結婚を、すべての人に。

私たちが大切にしている言葉

●「成婚」とは

弊社サービスを通じて出会ったお相手と、結婚を視野に入れて真剣なお付き合いをしていくことを決めた状態です。

●「婚約」とは

弊社サービスを通じて出会ったお相手と関係を深め、結婚することの約束が成立し、サービスを卒業(退会)する状態です。

●「結婚成立」とは

弊社サービスを通じて出会ったお相手との結婚が成立した状態です。

●「結婚後の幸せ」とは

考え方や感覚の違いを双方が理解し、受け入れられていることで、家族としての時間も、個人としての時間も充実している状態です。

(相互理解の持続と人生の充実)



婚約における理想の姿

●私たちが考える『「婚約」時における理想の姿』とは

私たちは、「結婚成功」＝「結婚成立＋結婚後の幸せ」という定義に基づき、お客様の「結婚成功」のため、以下の4つの観点を『お客様が「婚約」する時（＝サービスを卒業（退会）する時）の理想の姿』としてサービスを提供いたしております。

- 【1】「考え方（仕事や生活）」を率直にすり合わせし、理解している（＝対話と相互理解）
- 【2】「感覚（金銭や味覚、喜怒哀楽）」を確認し、理解している（＝相互理解）
- 【3】【1】【2】を双方が受け入れられている（＝相互納得）
- 【4】【1】～【3】ができる関係性が構築できている（＝相互理解と相互納得の習慣化）

●なぜ私たちが『婚約における理想の姿』にこだわるのか

結婚は、二人が幸せに向かって歩いていく素晴らしいライフイベントです。

一方で、血の繋がりもなければ、育った環境も異なる二人が生活を共にする過程においては、「考え方」や「感覚」の違いはあって当たり前です。

だからこそ、結婚はゴールではなくスタートと捉え、「考え方」のすり合わせや、「感覚」の確認をし合いながら、相互理解を持続することが最も大切です。

それが、長い結婚生活をより良いものに発展させ、人生を充実させるために必要なことであると私たちは考えています。

相互理解したい考え方

以下の6つの観点における「考え方」を率直にすり合わせし、理解した上で、双方が受け入れられていることが大切です。

●結婚式・入籍関連

- ・入籍までの期間について
- ・結婚式の有無について

●お金

- ・財布の共有について
- ・家計の管理方法について

●仕事・キャリア関連

- ・結婚後の仕事について
- ・今後のキャリアについて
- ・理想とする世帯年収について

●生活

- ・食事について
- ・家事/育児について
- ・休みの日の過ごし方について

●住まい

- ・親との同居について
- ・今後の居住地について

●未来

- ・2人が描く夫婦像について（結婚後～晩年）
- ・2人で実現したい夢について

<「考え方」の相互理解の方法>

「考え方」は、育ってきた環境や状況によって、人それぞれ異なるものであり、今後とも変わっていくものであるということを前提に相互理解をすることが大切です。

交際成立後のデートや食事、メッセージ交換などを通じて、自分の「考え方」だけを伝えるのではなく、お相手の「考え方」も聞きながら率直に話し合しましょう。

2人の「考え方」に相違があった時こそ、相互理解を深めるチャンスです。なぜその「考え方」に至ったのかという背景やきっかけを聞くことで、より深くお相手のことを知ることができます。

※お話しするタイミングや進め方などでお悩みの際は、担当アドバイザーまでご相談下さい。

相互理解したい**感覚**

以下の3つの観点における「感覚」を確認し、理解した上で、双方が受け入れられていることが大切です。

●金銭

- ・高い・安いの基準
- ・使う・使わないの基準

●味覚

- ・薄味・濃い味の基準
- ・好きな食べ物・嫌いな食べ物

●喜怒哀楽

- ・喜びを感じる基準
- ・怒りを感じる基準
- ・哀しみを感じる基準
- ・楽しさを感じる基準

<「感覚」の相互理解の方法>

「感覚」は「考え方」と異なり、お相手との共通の体験や経験を通じて知ることができます。

交際成立後のデートや食事、買い物、映画鑑賞などのお相手と過ごす時間の中で、「美味しい」「嬉しい」「悲しい」「楽しい」「感動した」など、自分が感じた「感覚」や「気持ち」を積極的に表現し、お相手に伝えていきましょう。

「感覚」に違いがあったとしても、それはお相手の個性の1つとして捉え、お互いが「感覚」の違いを理解して受け入れられるかが大切です。

※進め方などでお悩みの際は、担当アドバイザーまでご相談下さい。

幸せが続く結婚を、
すべての人に。



エン婚活

エージェント